

災害防止に効果のある日常活動【4S活動】

「転倒・転落災害及び荷による災害の防止」に効果のある日常の活動として、4S活動があります。4S（整理・整頓・清掃・清潔）の意味と進め方は次のとおりです。

整理・・・必要な物と不要な物に分け、不要な物を処分すること	
進め方	① 不要な物の廃棄基準の判断がつかないときに要不要を判断する責任者を決める。 ② 4Sゾーン（区域）ごとに、所属従業員全員が掃除し、不要な物を廃棄する（定期的に行う）。 ③ 店長が定期的に巡回して整理の状況をチェックする。 ④ チェック結果により改善し、必要に応じ廃棄基準を見直す。
整頓・・・必要なときに必要な物をすぐ取り出せるように、わかりやすく安全な状態で位置させること	
進め方	① 現状を把握する（品目、置き場所、置き方、使用時の移動距離）。 ② 置き場所、置く物の種類、必要数量を決定する（種類・量とも絞り込み、移動距離を短くすること）。 ③ 置き場所ごとの管理担当者を決める。 ④ 取り出しやすく、しまいやすい置き方を決める。 ⑤ 以上のルールに従って整頓する。 ⑥ 定期的にチェックし、必要に応じ改善する。
清掃・・・身の回りをきれいにして、衣服や作業場のゴミや汚れを取り除くこと	
清潔・・・整理・整頓・清掃を繰り返し、衛生面を確保し、快適な状態を実現・維持すること	

- 4Sができていない店舗では、次のようなトラブルが起こります。
- ・バックヤードに物があふれ、事務所、休憩室の空間が狭められる。
 - ・本来必要な物を置くスペースが確保できない。
 - ・不必要な物まで管理しなければならない。
 - ・必要な物を探すのに時間がかかり、仕事が中断する。
 - ・必要な物が必要な量あるかどうか分からない。
 - ・置くべきでない場所に物が置かれていて、物を運搬するとき手間取ったり、つまずいたりする。また、接触事故が起こりやすくなる。